

# 東海カード会員だより

2021年10月20日発行

## 東海大学新聞掲載記事 (2021.9.1号)

### 【東京五輪】柔道男子 100 キロ級・ウルフ選手

#### 個人で金 団体で銀

7月23日から8月8日まで開催された東京五輪に、東海大学から卒業生を含む多くの選手・スタッフが出場。柔道男子 60 キロ級の高藤直寿選手(体育学部 2015 年度卒・パーク 24=本紙 8 月 1 日号既報)と 100 キロ級のウルフアロン選手(体育学部 17 年度卒・了徳寺大学職員)が金メダルを獲得し、ウルフ選手は混合団体でも銀メダルに貢献した。

「柔道三冠」の偉業を達成—7月29日に日本武道館で行われた柔道男子 100 キロ級で、ウルフ選手が金メダルに輝いた。

五輪初出場となったウルフ選手は、初戦の 2 回戦でムハンマドカリム・フルラモフ選手(ウズベキスタン)に豪快な浮き技を決めて一本勝ち。準々決勝ではペテル・パルチク選手(イスラエル)から大内刈りで技ありを奪った。

準決勝ではリオデジャネイロ五輪銀メダリストのバーラム・リパルテリアニ選手(ジョージア)から大内刈りで技ありを奪い勝利。チョ・グハム選手(韓国)との決勝は、ゴールデンスコア方式の延長戦の末に得意の大内刈りで一本勝ちした。

同階級の金メダルはシドニー五輪を制した男子代表の井上康生監督(体育学部教授、男子柔道部副監督)以来 21 年ぶりで、ウルフ選手は世界選手権、全日本選手権を制しており、男女合わせて史上 10 人目の柔道三冠を達成。男子では日本オリンピック委員会の山下泰裕会長(副学長=スポーツ担当、体育学部教授)や井上監督ら 7 人、女子では女子代表の塚田真希コーチ(体育学部准教授、女子柔道部監督)ら 2 人しか達成していない快挙となった。

試合後のインタビューで、「五輪では井上先生以来金メダルの取れていない階級だったので、僕自身が取り戻してやろうという気持ちでした。持ち味の泥臭い柔道を貫いて勝つことができよかったです。子どものころから日本武道館でたくさんのお大会に出場してきて、目標だった東京五輪で、ここで優勝できたことは感慨深い。支えてくれた家族や付き人、応援してくれたすべての人に感謝を伝えたい」と語った。

#### 日本代表の一員として 新種目の混合団体に出場

7月31日には今大会から新種目として採用された混合団体が行われた。男女 3 階級ずつ計 6 人一チームで構成され、同じ階級の選手が対戦する点取り戦で、4 勝したチームの勝利(3 勝ずつの場合は代表戦)となる。

日本代表は初戦となった準々決勝でドイツと対戦し、0—2 とあと 1 戦も落とせない劣勢から 3 連勝すると、ウルフ選手がゴールデンスコア方式の延長戦の末にヨハネス・フレイ選手から肩車で技ありを奪って 4—2 とした。

準決勝では ROC(ロシアオリンピック委員会)に 4—0 で勝利し、迎えたフランスとの決勝戦は 1—2 と劣勢の場面でウルフ選手が登場。テディ・リネール選手の胸元に果敢に攻め込み延長戦に突入したが、内股で技ありを奪われ惜敗し、続く選手も敗れ 1—4 で銀メダルとなった。

### 【付属図書館】桃園文庫の古典籍をデジタル化

#### 国文学研究資料館と覚書締結

国文学研究資料館と東海大学付属図書館が 6 月 17 日に、日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画におけるデータベース構築に関する覚書を締結した。東海大が所蔵する「桃園文庫(とうえんぶんこ)」約 8500 点の中から、古典籍(江戸時代以前の日本の書物)の資料約 2000 点を 2023 年度までにデジタル化。国文学研究資料館の「新日本古典籍総合データベース」に公開される計画となっている。

(裏面へ続く)

「桃園文庫」は、国文学者の故・池田亀鑑博士が『源氏物語大成』を編纂する過程で購入した『源氏物語』の写本をはじめ、『伊勢物語』『土佐日記』などの王朝文学に関する資料を含んだコレクションの総称。東海大文明研究所初代所長などを歴任した故・原田敏明名誉教授が池田博士の義理の兄である関係から、池田博士が亡くなった後にコレクションの管理を一任された。

1973年11月に東海大が建学30周年事業の一環として一括購入し、「桃園文庫」として付属図書館に保管されてきた。展示会以外では一般公開はされておらず、学内外の研究者から問い合わせがあった際に対応。外部への持ち出しや写真撮影、コピーは原則禁止されていた。

クリックすると拡大表示になります今回のデジタル化にあたっては、写本などのコレクション一点一点を撮影し、書誌データと合わせて新日本古典籍総合データベースに公開される。書名や著者名、分類といったキーワード検索のほか、「公家」「鎧」「犬」といった画像ごとにつけられたタグからも検索ができ、資料によってはデータのダウンロードも可能となる。

データベースには現在、全国各地の大学や図書館などの機関に所蔵されている約65万点の書誌と約15万点の画像が公開されており、論文への転載や他機関の資料との比較など、研究・教育活動への活用が期待されている。付属図書館の辻中豊館長(副学長・政治経済学部教授)は、「桃園文庫の閲覧に関する問い合わせはコロナ禍の前で年間約50件以上と多く、学内外からデジタル化を要望する声もありました。データベースに公開されれば世界中から閲覧でき、理工系など他分野の研究者によって新たな研究が生まれる可能性もある。多くの方に活用してもらいたい」と語っている。

## 東海カード提携協力店募集のお知らせ

東海カードでご利用頂ける独自の協力店は、会員の皆様のご協力により全国の店舗・施設でご利用いただけます。

東海カードをより価値あるものにするために、引き続き皆様に協力店の募集をお願いしております。詳細は同窓会事務局までご連絡をお願いします。

## 東海大学ネットをご活用ください

・MicrosoftOffice365システムによる生涯メールアドレスの利用  
(tokai-u.jpのドメイン) 詳細は以下URLをご覧ください。  
<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/service/net.html>

## インターネットホームページについて

URL : <http://www.kouyu.tokai.ac.jp/> (校友会)  
<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/kouenkai/> (後援会)  
<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/> (同窓会)

校友会・後援会・同窓会ではホームページを開設しております。会員の皆様からの情報をもとに内容を充実させていきたいと考えておりますので、ご意見・ご希望をお寄せ下さい。事務局までお気軽にお願いいたします。

## 東海大学校友会(校友会・白鷗会・同窓会)事務局

学校法人東海大学学園事務センター(学園校友ユニット)  
〒151-8677 渋谷区富ヶ谷 2-28-4 TEL 03-3467-2211(代表)  
E-mail [koyukai@tokai.ac.jp](mailto:koyukai@tokai.ac.jp)

## 東海大学キャンパスサポートオフィス(後援会担当)

〒259-1252 平塚市北金目 4-1-1 TEL 0463-58-1211(代表)  
E-Mail [koyu@tsc.u-tokai.ac.jp](mailto:koyu@tsc.u-tokai.ac.jp)